



この人

就任のご挨拶

ゆめジャーナル 神奈川

ゆめクラブ神奈川
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会
発行人/小宮 恒次 編集/熊谷 末男
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
電話/045(311)8737 FAX/045(312)4288
印刷/ (株)ジェイ・スタッフ

通巻 **187**号 平成26年7月15日 (年2回刊)
発行部数・100,000部
Eメール kanagawa@yumekurabu.or.jp
ホームページ http://www.yumekurabu.or.jp

「加入促進パンフレット」発行——南足柄市老連

今日的課題、会員が増えない、会長のなり手が無い。南足柄市老連でも会員が30名以上居ますが、会長が居ないということでクラブを解散せざるを得ないという事態が起こりました。みんなで支えあい、仲間が楽しく過ごし、地域に奉仕したり何よりも健康で過ごせるようにと、単位クラブの活動を紹介し、多くの人に老人クラブ活動を知ってもらいたいと「加入促進」のパンフレットを作成しました



和田河原地区のサロン風景

60名程の参加者が6テーブルに分かれ百人一首の最中。毎年、年末と新年のサロンで「脳トレ」として百人一首に取り組んでいます。この他にも文化部・運動部で7部のサークルを結成して活動しています。

歩け歩け運動

南足柄市から『生きがいと健康づくり推進事業』の一つとして事業委託され、年1回市内の公園に集まり開催。写真は、南足柄市運動公園でクラブ会員以外も参加した500人の高齢者が、ニュースポーツに取り組む前の準備体操を行っているところです。



その他の活動につきましては、神奈川県ホームページからご覧になれます。

写真提供/南足柄市老連

老人クラブのご案内 神奈川県

検索

紫陽花の咲く季節に入り、暑さが日に日に増してきました。本年度は、役員改選期にあたり、理事会に於いて諸先輩方のご賛同を得て、理事長に就任することになりました。

これからは、決意をあらたに先輩諸兄から受け継がれた和の精神を継承して、その和をさらに大きな輪にしたいと考えております。二十一世紀に入り本格的な長寿社会においては、名実ともに社会の担い手として活躍することが期待されております。

そのためには、我々老人クラブの会員が、この高齢社会を支える一員として、永年培ってきた知識や経験豊富な能力を生かし「ゆとり」「うるおい」「やすらぎ」に満ちた心豊かな地域社会を目指した活動をして行くことが大切です。

又、地域社会の中で高齢者が生活の質をより高めていくためには、相互の支え合いを基礎に仲間づくりを図り、健康で生きがいをもって、心から安心して暮らせる長寿社会を構築する事が重要です。高度な情報化の中にあつて、介護・医療問題など高齢者を取り巻く情勢は厳しいものがある。このような社会情勢に自主的・組織的に対応する取り組みを進めるため、他の関係機関・団体との連携のもと、活動をさらに発展させることに努めなければなりません。

公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会理事長 **小宮 恒次** を展開する。

全国の3つの基本理念は「健康」「友愛」「奉仕」老人クラブはこれからも新たな仲間呼びかけて「4つの基本理念を目指して進みます。」

- 1 生きがいづくり
- 2 健康づくり
- 3 仲間づくり
- 4 地域づくり

本年より五か年計画にて老人クラブ「100万人会員増強運動」が始まります。

以上の活動を県老連としても展開してまいりたいと思っておりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ゆめクラブ神奈川は「祝寿共済保険白寿1,300円コース」を推薦いたします。

神奈川県内の自営業の方・中小企業にお勤めの方はもちろん、そのご家族様までご加入いただける安心の保障!!

もしものケガの備えに **祝寿共済保険 白寿** 1,300円コース

福祉振興財団 1,300円コース

フリーダイヤル 0120-180890

こだま

老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進

常務理事・事務局長 小澤 茂

わが国の高齢者人口は三千万人を超え、今後もさらに増加することが見込まれております。一方、老人クラブでは平成十年をピークにクラブ数・会員数が減少に転じ、平成二十四年度までに約二万クラブ、二〇〇万人の会員が減少しました。

このような状況の中で、全老連では、平成二十二年年度から二十四年度まで「老人クラブ活性化三か年計画」を提案して推進してきましたが会員増までには至らなかったため、二十五年度には、政策委員会検討を進め「老人クラブ100万人会員増強運動」を策定し推進することとなりました。

この計画の内容は、平成二十六年から三十年度までの五か年で、減少した二〇〇万人の二分の一の二〇万人を増やそうというものです。

運動要綱は、「生きがいづくり」「健康づくり」「仲間づくり」「地域づくり」を基本理念として、全国老人クラブ連合会、都道府県・指定都市老人クラブ連合会が主唱し、市町村老人クラブ連合会、単位クラブが実施主体となつて、「総力を結集して「全国100万人会員増強を達成しよう!」をスローガンに推進するものです。」

ゆめクラブ神奈川の動き

県老連平成二十六年事業計画
・予算決定

平成二十六年度は、県老連の予算要望により、平成二十五年度からの新規事業である「介護予防・生きがいづくり支援事業」について、引き続き県から県老連が委託を受け実施することとなりました。

この事業は、老人クラブ活動との連携・協働により、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくり、生きがいづくりによる介護予防を推進するもので、県下六ブロックで行う「ゆめクラブ大学」と各市町村老連で行う「福祉・健康祭り」で構成されています。

なお、事業実施にあたっては「ゆめクラブ大学」は、健康づくり等に係る講義形式による講座を開講し、健康体操（実技）を含めた5講座程度を実施するものです。

「福祉・健康祭り」は、高齢者の健康づくり等に係る普及啓発を目的としたイベントを、福祉・健康祭りの名称で実施するもので、健康体操の実演、健康相談、高齢者の健康づくりに係るチラシの配布等を行い実施するものです。

この事業は、神奈川県老連が

二十四年度に要望した結果として委託されたものですので、成果を上げ次年度へつなげていきたいと思えます。

平成二十六年事業計画及び予算案は、三月六日の理事会及び十七日の評議員会で承認されました。

以下、県老連の基本方針に基づく事業の体系は次のとおりです。

か かがやいて元気に生きる
(健康・生きがい事業)

- ① 高齢者健康づくり教室／県下二ヶ所で開催。
- ② ブロック別ニュースポーツ交流の集いへの支援／六ヶ所。
- ③ 健康チャレンジフェアかながわへの参加。
- ④ 介護予防・生きがいづくり支援事業（県委託事業）。

な なかまを広げて仲良く生きる
(社会活動事業)

- ① 友愛チーム四百三十二チームによる寝たきり、一人暮らしの高齢者等に対する相互生活支援活

- 動及びブロック研修の実施。
- ② 友愛活動等支援事業の実施／三十一ヶ所。

- ③ 地域活動支援事業／市町村老連が行う次世代等交流事業、安全安心活動、パソコン活用事業等を支援／三十一ヶ所。
- ④ 九月二十日「社会奉仕の日」統一活動の実施。
- ⑤ ④ 老人クラブ「一〇〇万人会員増強運動」の推進。

- ① 機関紙「ゆめジャーナル神奈川」の発行／年二回。
- ② ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催／七ヶ所。
- ③ 県老連役員、女性リーダー、地域活動推進員の研修会の実施及び全老連、関東ブロック研修会への参加。
- ④ 市町村老連の指導育成、六ブロック老連連絡会議への支援。

か 学習・参加で豊かに生きる
(情報提供、学習によるリーダー養成事業)

- ① 機関紙「ゆめジャーナル神奈川」の発行／年二回。
- ② ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催／七ヶ所。
- ③ 県老連役員、女性リーダー、地域活動推進員の研修会の実施及び全老連、関東ブロック研修会への参加。
- ④ 市町村老連の指導育成、六ブロック老連連絡会議への支援。

- ① 神奈川県老人クラブ等功労者のつどいの開催。
- ② 賀詞交換会の開催。
- ③ 全国老人クラブ大会への参加。

わ わくわくニコニコ楽しく生きる
(社会活動事業)

- ① 友愛チーム四百三十二チームによる寝たきり、一人暮らしの高齢者等に対する相互生活支援活

平成26年度予算 (単位:千円)

収入		支出	
分担金	10,019	公益目的事業	32,372
事業収益	1,720	その他事業 (賀詞交歓会)	1,271
補助金	13,533	法人会計	5,634
委託費	5,676	合計	39,277
寄付金	3,700		
その他	511		
正味財産対応	4,118		
合計	39,277		

収入の不足分(4,118千円)は、正味財産から補填します。

公益目的事業の内訳

クラブ育成事業	2,625	県老連・関プロ等研修
地域活動事業	10,522	健康づくり、友愛、地域活動支援事業等
調査広報事業	342	ゆめジャーナル委員会等
大会会議費	1,640	全国大会、功労者の集い
21世紀基金事業	659	老人クラブ活動PR事業 ニュースポーツ交流の集い
介護予防・生きがいづくり支援事業	2,833	ゆめクラブ大学 福祉・健康祭り
共通経費	13,751	事業に伴う人件費・事務経費
合計	32,372	

上の予算を会員(100,749人)一人あたりに換算すると390円になります。

収入 (単位:円) 支出 (単位:円)

収入		支出	
分担金	100	公益目的事業	321
事業収益	17	その他事業 (賀詞交歓会)	13
補助金	134	法人会計	56
委託費	56	合計	390
寄付金	37		
その他	5		
正味財産対応	41		
合計	390		

☆県からの補助金、委託金は年々削減される中、分担金は、県老連にとって貴重な安定した財源で、研修会や健康づくりなど各種事業費に充当させていただいております。

平成25年10月1日改定

平成25年9月1日以降のお申込みから適用

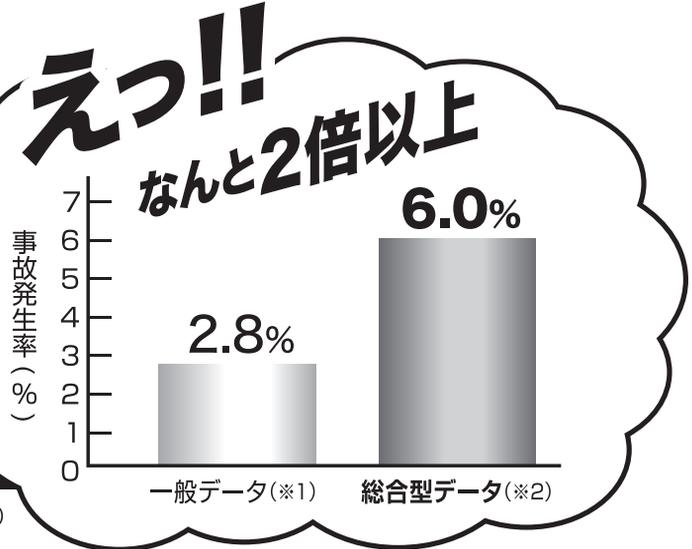
ケガの老人クラブ傷害保険

日常生活中で高い事故率

(老人クラブ活動中以外の事故)

普通傷害保険事故率の2倍以上になる 6%

(※1) 普通傷害保険被保険者中の被害者比率(平成23年損害保険料率算出機構統計集より抜粋)
(※2) 事故データ提供:東京海上日動火災保険(株)



総 合 型

〈クラブ活動型〉+ 〈24時間型〉

24時間いつでも、どこでもケガが心配という方におすすめ

年間掛金 3,500円・5,000円・10,000円

ク ラ ブ 活 動 型

クラブの行事や活動によく出かけるという方におすすめ

年間掛金 500円・1,000円・2,000円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

03-3597-8770 | 受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝祭日休)

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768 FAX番号 03-3597-8767

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日始期以降用)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。

平成二十五年度決算が認定される

平成二十六年五月十五日の理事会及び五月二十六日の評議員会で平成二十五年度事業報告及び決算報告の承認をいただきました。

平成二十五年度は、公益財団法人として二年目を迎え、県へ予算要望活動を行った結果として、新規委託事業として「介護予防・生きがいづくり支援事業」を県下六ブロックで「ゆめクラブ大学」、各市町村老連で「福祉・健康祭り」を実施し、健康寿命の延伸に向けた高齢者の健康づくり、生きがいづくりによる介護予防を推進しました。

また、健やかで心豊かな暮らしの実現と健康寿命の延伸を目指して、健康づくり実践活動の普及・啓発を目的とした「健康チャレンジフェアかながわ」にゆめクラブ神奈川女性会議が参加しました。

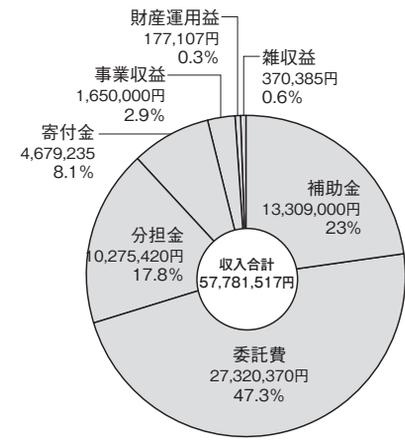
さて、平成二十五年度に実施した事業をいくつか紹介します。「か」事業の健康活動では、

高齢者向けニュースポーツの普及と健康づくり・交流を目的としたニュースポーツ交流の集いが六ブロックで開催され、グラウンド・ゴルフが四ブロック、スカットボール及びパークゴルフがそれぞれ一ブロックで行われ、千六十人が参加しました。この事業は、二十一世紀活動基金を財源として行っています。

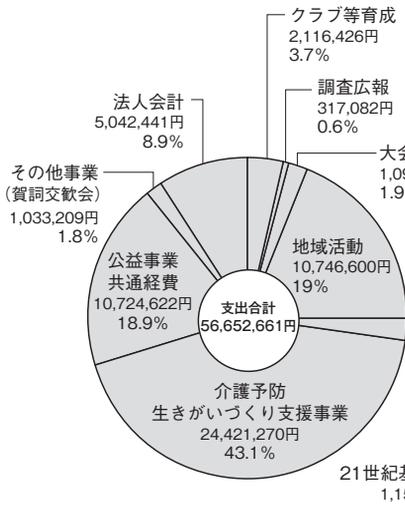
健康チャレンジフェアかながわに女性会議代表九人が参加しました。介護予防生きがいづくり支援事業は、「ゆめクラブ大学」が六ブロックで実施され六百一人、「福祉・健康祭り」が各市町村老連で実施され一万四千五百九人が参加しました。

「な」事業の高齢者相互支援事業では、老人クラブ会員を中心に友愛チームを編成し、在宅者や施設利用者を対象とした訪問活動等を行っています。また、友愛チームは、四百六十七チームが活動を行いました。また、友愛チーム員を対象とした研修会が六ブロック七か所で行われ、五百九十二人が参加しました。超高齢社会を迎える中で、会員同士の地域での支え合いがますます重要であることを痛感します。

平成25年度一般会計決算（収入の部）



平成25年度一般会計決算（支出の部）



「わ」事業では、正副理事長会や理事会、評議員会等を開催したほか、十一月二十日に功労者の集いを行い、老人クラブ活動に功績のあった個人八十一人及び団体三十八団体を顕彰しました。

その他の事業についても、当初の計画通りに実施することができました。当初の予算では、二百五十一万九千円の前期繰越金を取り込んだ予算編成でしたが百二十二万八千円の黒字となりました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

「か」事業では、役員研修会や女性会議研修会等を行いました。

また、社会奉仕の日統一活動では、二千四百二十一単位クラブ、三万六千三十人の方に参加をいただきました。

「な」事業では、役員研修会や女性会議研修会等を行いました。

また、社会奉仕の日統一活動では、二千四百二十一単位クラブ、三万六千三十人の方に参加をいただきました。

「わ」事業では、正副理事長会や理事会、評議員会等を開催したほか、十一月二十日に功労者の集いを行い、老人クラブ活動に功績のあった個人八十一人及び団体三十八団体を顕彰しました。

【県老連の新役員紹介】

五月二十八日に開催された評議員会で、理事の満期満了に伴う新理事及び評議員の辞任に伴う後任者が選任され、評議員会終了後、開催された理事会で正副理事長が決まりましたので紹介いたします。

選任

理事長

小宮 恒次（平塚市）

副理事長

熊谷 末男（三浦市）

三橋 道明（厚木市）

杉崎 勲（小田原市）

樋口 恢作（南足柄市）

石川 禮治（相模原市）

常務理事

小澤 茂（事務局長）

理事

伊東 清（葉山町）

藤野 正次（茅ヶ崎市）

斎藤 武志（大和市）

上野 治巳（箱根町）

藤原 信男（大井町）

神保 岩男（相模原市）

評議員

岡本 基明（横須賀市）

小川 文男（横須賀市）

尾上 守保（平塚市）

月本 孝光（平塚市）

沖田 俊昭（鎌倉市）

田場川 善雄（藤沢市）

山田 耕嗣（藤沢市）

大友 昭夫（小田原市）

小宮 清隆（小田原市）

柏崎 周一（茅ヶ崎市）

田中 義勇（逗子市）

羽深 シツカ（相模原市）

川村 茂（相模原市）

高橋 美登利（相模原市）

川松 賢治（三浦市）

訃報

本会理事石川輝夫氏（藤沢市老連会長七十九歳）におかれましては、去る三月十五日にご逝去されました。また、本会評議員勝呂正行氏（箱根町老連副会長七十四歳）におかれましては、去る四月十七日にご逝去されました。謹んでお知らせいたしますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

ゆめクラブ活性化推進事業募金（21世紀活動基金募金）報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日

Table with 4 columns: 地域別, 募金額, 地域別, 募金額. Lists regional contributions from 横須賀市 to 綾瀬市.

◆老連・単位クラブ等合計金額 424,735円(敬称省略)平成25年4月1日から平成26年3月31日

- List of contributions from various clubs and organizations across different municipalities like 横須賀市, 相模原市, 平塚市, etc.

【決算報告】(平成26年3月31日現在)

収入合計 4,959,596円
支出合計 1,141,460円
次年度繰越金 3,818,136円

Table with 4 columns: 収入, 支出, 収入合計, 支出合計. Breaks down income and expenses into categories like 県共同募金寄付金, 活性化事業募金, etc.

【募金活用について】

平成25年度は老人クラブ活動PR事業として『のぼり旗』の作成（後期配布）、及びスポーツ交流大会助成金として各市町村老連で活用されました。平成25年12月18日(金) かながわ県民センターで開催の「ゆめクラブ神奈川21世紀基金管理運営委員会」において、今後も本募金の継続維持をしていくためにも各市町村老連事務局等への協力を依頼することになりました。平成26年度は「スポーツ交流大会助成金」として@100,000円×6ブロック老連で活用することが、理事会において承認されました。また、この助成事業開催にあたり開催老連には「活性化募金活用」を明記等活用の周知をお願いしております。皆様の地元開催での事業においても「ゆめちゃんマーク」の募金箱設置をご協力をお願いすることがあると思います。今後とも「活性化事業募金」のはっきりとした目的を示した上で、募金活動をすすめていきたいと思っておりますので、皆様のご協力の程、よろしくお願いいたします。

今後も皆様の貴重な募金を各市町村老連事業に活用させていただきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。



ゆめクラブ 神奈川の動き



①県老連役員宿泊研修会
平成25年12月12日～13日
(於：箱根水明荘)

県老連の事業執行状況、女性会議の報告などを行いました。参加者37名。

②ゆめクラブ大学
平成25年12月20日
(於：ソレイユさがみ)

“笑い”をテーマに3つの講座で楽しく学びました。健康体操ではセラバンドやタオル体操など、自宅でもできる運動を習得しました。



③平成26年賀詞交歓会
平成26年1月10日
(於：横浜ホテルキャメロットジャパン)

老人クラブ関係者及び関係機関、団体、企業が一堂に会し、賀詞交歓会を行いました。



④全老連女性代表者会議
平成26年5月21日

全国より女性代表者が集まり、「100万人会員増強運動」の推進と「高齢消費者被害防止に向けた取り組み」について説明と報告がありました。



⑥全老連中央セミナー
平成26年6月2日～3日

全国より若手リーダー77名が集い、「100万人増強運動」に関する講演、グループ協議などが行われました。



⑤平成26年5月26日の理事会において、正副理事長が決まりました。よろしくお願いたします。



平成25年	平成26年
12月	1月
3日～4日 全老連会長会議	10日 平成26年賀詞交歓会 (写真③)
12日～13日 県老連役員宿泊研修会・正副理事長会議 (写真①)	15日 ゆめジャーナル発行
13日～20日 相模原ブロックゆめクラブ大学 (写真②)	16日～17日 全老連友愛活動セミナー
18日 21世紀活動基金管理運営委員会	2月
	4日 全老連事務局局長会議
	7日 正副理事長会議
	3月
	6日 理事会・正副理事長会議
	7日 全老連理事会・評議員会
	17日 評議員会
	19日 市町村老連事務担当者会議
	4月
	10日 編集委員会
	11日 正副理事長会議
	5月
	9日 正副理事長会議
	12日 関東ブロック会長・事務局長会議
	13日 監事会
	15日 理事会
	21日 全老連女性代表者会議 (写真④)
	26日 定時評議員会・理事会 (写真⑤)
	6月
	2日～3日 全老連中央セミナー (写真⑥)
	6日 正副理事長会議
	12日 女性会議研修会
	18日 全老連理事会・評議員会
	26日～27日 関ブロックリーダー研修会
	30日 全老連事務局局長会議
	7月
	4日 正副理事長会
	15日 ゆめジャーナル発行
	17日～18日 関ブロック活動推進員研修会
	28日 21世紀基金管理運営委員会 役員・活動推進員合同研修会
	8月
	29日 関ブロック女性リーダー研修会
	9月
	5日 正副理事長会議
	20日 全国一斉社会奉仕の日

県老連の動き